

主 要 警 備 任 務 表

1 火災の予防・防止

- ① 警備員室に設置されている火災警報受信盤を監視し、火災発生の場合は、直ちに現場に急行し、現状判断のうえ、初期消火等適切な処置を迅速に行うものとする。
巡回中において火災発生が発見、又は異常を予知される場合は、直ちに第一次的な処置をなし、職員及び消防機関に連絡して対応する。
- ② 各種不始末事項の発見処理
 - ア 消灯
 - イ 給水栓
 - ウ ごみ収集場所
- ③ 警備受託物件の周辺に火災が発生した場合は、すみやかにその旨を職員に通報連絡すること。
- ④ その他防災に関する事項

2 盗難の予防

- ① 学生寮及び多目的学習棟出入口等の施錠点検
- ② 盗難の発見、予防
- ③ 不審者、はいかい者等の発見と排除
- ④ 潜伏者の発見と排除
- ⑤ 不法侵入者の発見と制止
- ⑥ 事故発生時又は事故発見時における職員及び警察署への通報
- ⑦ その他保安上必要な事項
- ⑧ 施錠すべき窓、扉の点検

3 出入管理その他の業務

- ① 各出入口の開閉
- ② 寮駐車場の出入り管理
- ③ 寮ボイラーのスイッチの入り切り
- ④ 寮防犯設備のスイッチの入り切り
- ⑤ 多目的学習棟の防犯設備のスイッチの入り切り

出入口	開錠・開扉時間	閉錠・閉扉時間	備 考
学生寮玄関(男子寮、女子寮) 男子寮南 1 階食堂側ドア、 女子寮 1 階食堂脇扉 多目的学習棟	午前 6 時 0 0 分	午後 1 1 時 0 0 分	

注：開閉時間の変更又は臨時の開閉については、職員からの連絡を受けて対応する。

4 災害発生時の対応

- ① 緊急時は「緊急連絡網」に基づく
- ② 災害時は「火災時の手順」に基づく
- ③ けが人、病人の対応は「学生の傷病事故、病気等における職員等の対応について」に基づく

5 施設の故障の場合の措置

水道、電気、ボイラー、その他校施設に故障等を発見した場合は、直ちに職員及び関係機関に連絡すること。

6 学生の管理

① 学生との連携協力

寮生活心得に基づき、学生と協力して寮の管理に当たること。

② 学生の在寮確認（日直学生の点呼確認状況を監視する。朝・夕2回（午前7時40分、午後10時10分）

③ 学生が実施する日課の監視（フロア毎の清掃、風呂の湯張り等）

④ 電源スイッチの入切

勤務開始時 点灯、消灯時 一部消灯（寮室照明等）

午前7時 ダウンライト 消灯

⑤ 給湯、暖房ボイラーの操作

ボイラースイッチの操作（給湯ボイラーを午後5時15分に点火し、午後9時30分に消火する。

冬期間（11月20日頃～3月）は暖房用ボイラーを午後5時15分に点火し、午後11時に消火し、翌朝午前6時30分に点火し、午前8時30分に消火する。

⑥ 防犯設備の操作

警報装置のスイッチを午後11時に入れ、翌朝6時に切る。

7 その他

① 郵便・宅配便等の引き継ぎ

郵便・宅配便等が配達された場合には、適切に保管し速やかに職員及び学生へ引き継ぐこと。

② 契約書の定める契約期間中に、施設を第三者に貸出等を行う場合があるので、その際は事前に職員が指示した方法により対応すること。

③ 本校グラウンドはドクターヘリコプターの発着場に指定されているため、ドクターヘリコプターが発着する場合は消防署員の指示に従い対応すること。